

鋳工業指数参考図表集
(平成28年7月速報)

平成28年8月31日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成28年7月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	96.9	96.0	111.2	117.1
前月比	0.0%	0.9%	▲2.4%	0.9%
指数水準	—	H28.4 96.0以来 (超)H28.1 96.8以来 I H20.1, 2 118.2 II H20.3 118.1 III H20.5 116.4	H26.10 111.2以来 (超)H26.7 110.7以来 ①H23.3 97.7 ②H22.8 98.3 ③H21.12, H22.9 99.1	H28.5 117.8以来 I H21.2 155.6 II H21.1 150.2 III H21.3 146.3
前月比の動き	—	2か月連続+ (H28.6~当月)	3か月ぶり▲ (H28.4以来)	2か月ぶり+ (H28.5以来)
前月比幅	—	H28.6 1.7%以来 I H23.6 8.0% II H23.5 5.6% III H22.1 4.3%	H23.3 ▲5.8%以来 ①H23.3 ▲5.8% ②H21.2 ▲3.9% ③H21.3 ▲3.1%	H28.5 1.8%以来 I H20.11 13.2% II H20.12 9.9% III H21.1 9.8%
前年同月比(原指数)	▲3.8%	▲3.8%	▲1.8%	3.8%
前年同月比の動き	4か月連続▲ (H28.4~当月)	8か月連続▲ (H27.12~当月)	5か月ぶり▲ (H28.2以来)	8か月連続+ (H27.12~当月)
前年同月比幅	H28.1 ▲4.2%以来 ①H21.2 ▲37.2% ②H21.3 ▲32.7% ③H21.4 ▲30.0%	H28.1 ▲5.4%以来 ①H21.2 ▲36.1% ②H21.3 ▲32.1% ③H21.1 ▲30.9%	H26.2 ▲3.2%以来 ①H21.12 ▲17.6% ②H22.1 ▲16.8% ③H21.11 ▲16.4%	H28.3 3.8%以来 (超)H28.1 4.1%以来 I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

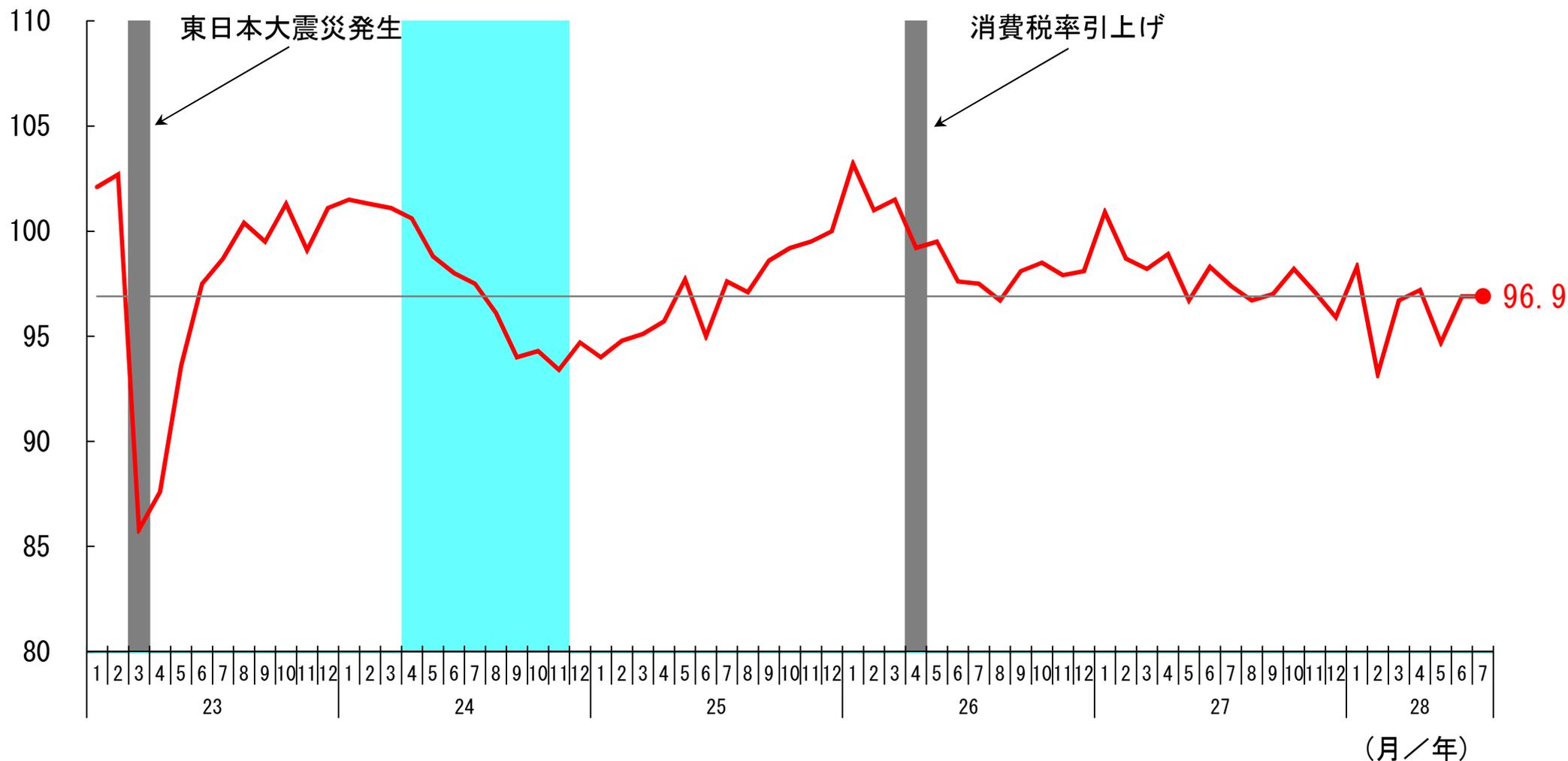
1) ▲はマイナス

2) I~Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①~③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数の動向

・平成28年7月の鉱工業生産指数は、96.9(前月比0.0%)と横ばい。

(22年=100、季節調整済)



(注)1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
2. 水色のシャドー部分は、景気後退局面。

平成28年7月の鉱工業生産の基調判断

「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」

基調判断の推移

- 平成25年9月～26年3月
「生産は持ち直しの動き」
- 平成26年4月～5月
「生産は横ばい傾向」
- 平成26年6月～8月
「生産は弱含み」
- 平成26年9月～11月
「生産は一進一退」
- 平成26年12月～平成27年4月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- 平成27年5月～7月
「生産は一進一退」
- 平成27年8月
「生産は弱含み」
- 平成27年9月～平成28年5月
「生産は一進一退」
- 平成28年6月～
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」

鉱工業生産指数

四半期ベース

(平成22年=100、季節調整済)

	指数	前期比 (%)
平成27年 II期	98.0	▲ 1.3
III期	97.0	▲ 1.0
IV期	97.1	0.1
平成28年 I期	96.1	▲ 1.0
II期	96.3	0.2
III期	(99.3)	(3.1)

月次(3か月移動平均値)ベース

(平成22年=100、季節調整済)

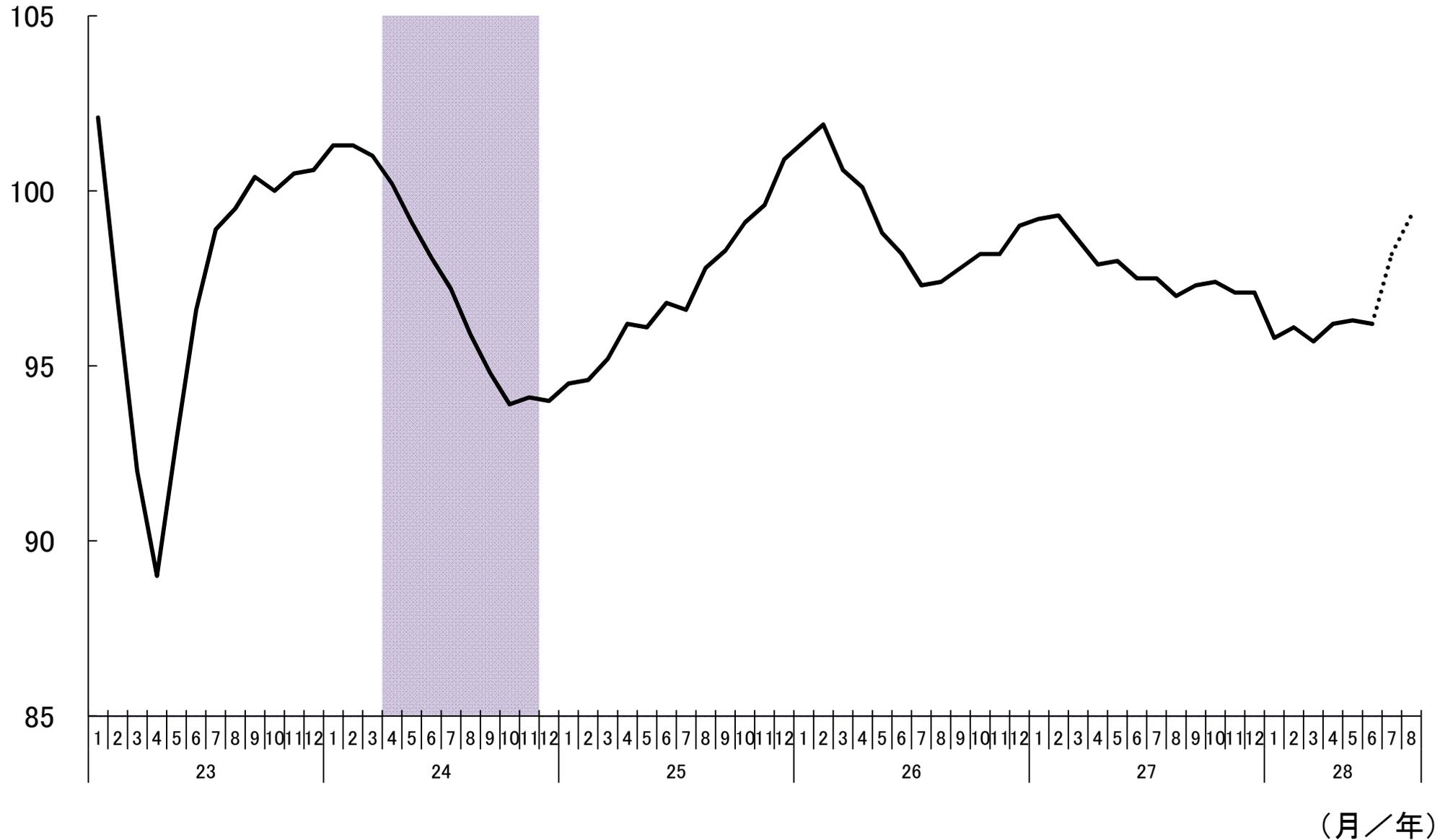
	指数	前月比 (%)
平成26年 8月	97.4	0.1
9月	97.8	0.4
10月	98.2	0.4
11月	98.2	0.0
12月	99.0	0.8
平成27年 1月	99.2	0.2
2月	99.3	0.1
3月	98.6	▲ 0.7
4月	97.9	▲ 0.7
5月	98.0	0.1
6月	97.5	▲ 0.5
7月	97.5	0.0
8月	97.0	▲ 0.5
9月	97.3	0.3
10月	97.4	0.1
11月	97.1	▲ 0.3
12月	97.1	0.0
平成28年 1月	95.8	▲ 1.3
2月	96.1	0.3
3月	95.7	▲ 0.4
4月	96.2	0.5
5月	96.3	0.1
6月	96.2	▲ 0.1
7月	(98.2)	(2.1)
8月	(99.3)	(1.1)

(注)

上記の平成28年III期の()及び右表の平成28年7月、8月の()内の数字は、製造工業生産予測指数の伸び率をそのまま鉱工業生産指数の最新月に適用して、機械的に計算したものである。製造工業生産予測指数は、鉱工業指数の対象のうち一部の企業に対して、今後の生産計画を調査したもの。

参考：鋳工業生産指数（3か月移動平均値）の動向

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

平成28年7月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与度
鉱工業生産を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	輸送機械工業	1.2%	2294.9%pt
	品目	乗用車	4.5%	3283.9%pt
		自動車部品	0.7%	456.0%pt
	2位の業種	電子部品・デバイス工業	1.5%	1146.0%pt
	品目	集積回路	5.9%	1666.5%pt
		半導体部品	4.2%	189.6%pt
	3位の業種	電気機械工業	1.6%	1068.3%pt
品目	回転電気機械	4.9%	490.1%pt	
	電子応用装置	11.2%	414.8%pt	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 上昇方向へ引っ張った業種の上昇への影響度(寄与度)合計 <u>5436.2%pt</u> </div>				
鉱工業生産を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	化学工業（除.医薬品）	▲1.4%	▲1307.0%pt
	品目	化粧品	▲2.4%	▲710.6%pt
		石油系芳香族	▲4.0%	▲307.6%pt
	2位の業種	金属製品工業	▲3.0%	▲1170.7%pt
	品目	建設用金属製品	▲6.9%	▲514.1%pt
		建築用金属製品	▲2.1%	▲210.5%pt
	3位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	▲0.7%	▲1018.5%pt
品目	ボイラ・原動機	▲13.6%	▲1189.5%pt	
	産業用ロボット	▲11.1%	▲1042.2%pt	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 低下方向へ引っ張った業種の低下への影響度(寄与度)合計 <u>▲5247.4%pt</u> </div>				

寄与度：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

平成28年7月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与度
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	4.5%	3283.9%pt
	2位	半導体・フラットパネル製造装置	8.2%	1682%pt
	3位	集積回路	5.9%	1666.5%pt
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	ボイラ・原動機	▲13.6%	▲1189.5%pt
	2位	産業用ロボット	▲11.1%	▲1042.2%pt
	3位	金属工作機械	▲7.6%	▲767.6%pt

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与度
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	3.6%	3585.9%pt
		普通乗用車	2.7%	1324.1%pt
		軽乗用車	23.4%	1161.1%pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	0.5%	669.8%pt
		化粧水	12.5%	531.2%pt
		ファンデーション	9.0%	366.7%pt
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	▲0.3%	▲417.8%pt
		数値制御ロボット	▲17.1%	▲851.8%pt
		一般用蒸気タービン	▲36.7%	▲671.6%pt
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	▲1.7%	▲958.3%pt
		橋りょう	▲20.4%	▲773.8%pt
		システムキッチン	▲6.7%	▲175.4%pt
生産財	原材料として投入される製品	生産財	▲0.3%	▲1515.2%pt
		アクティブ型液晶素子(中・小型)	▲15.0%	▲1240.3%pt
		駆動伝導・操縦装置部品	▲2.2%	▲486.2%pt

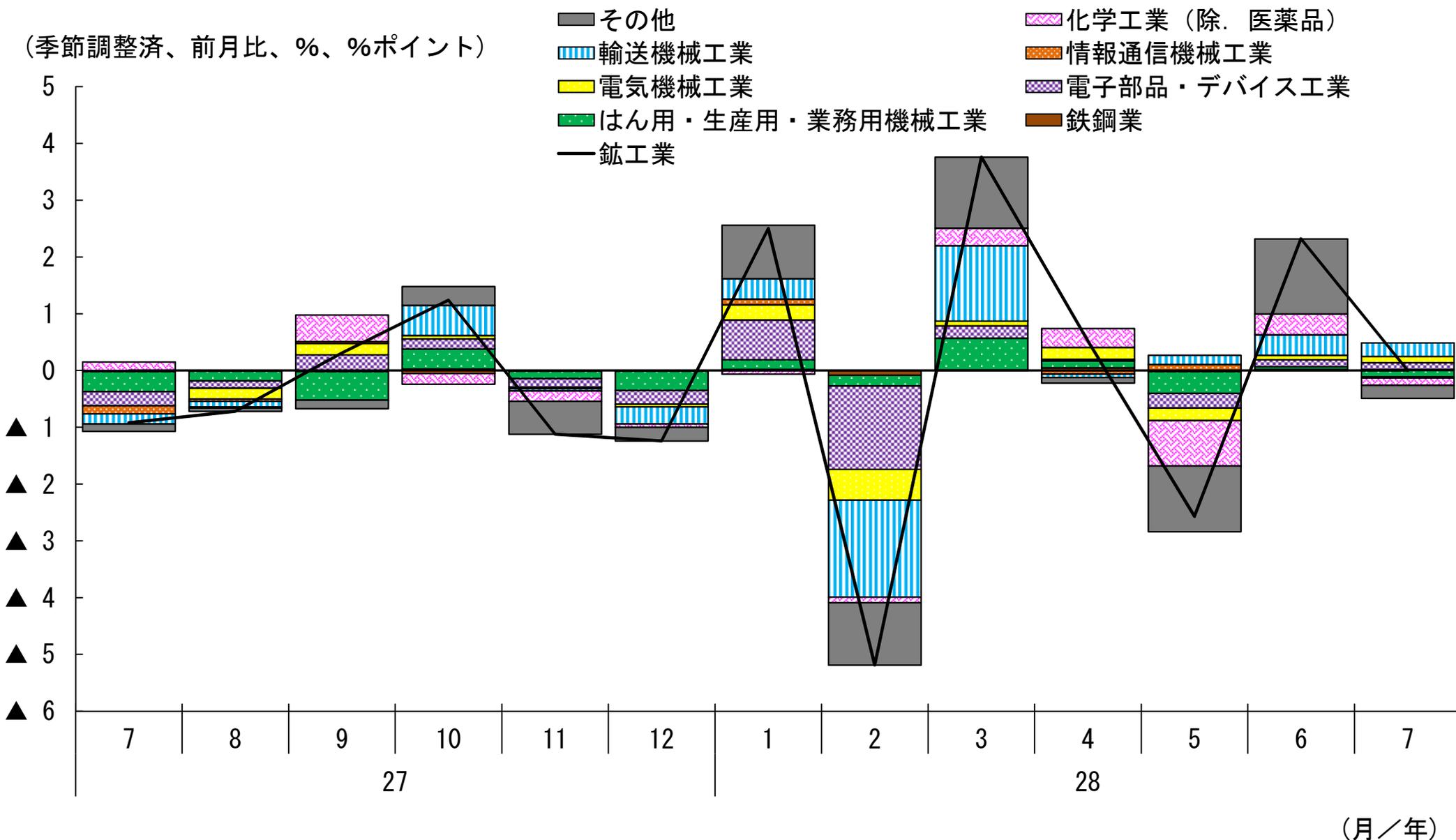
寄与度：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋳工業生産指数への業種別寄与度分解

- 平成28年7月の生産指数は、化学工業（除. 医薬品）などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇し、全体としては前月比0.0%の横ばい。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



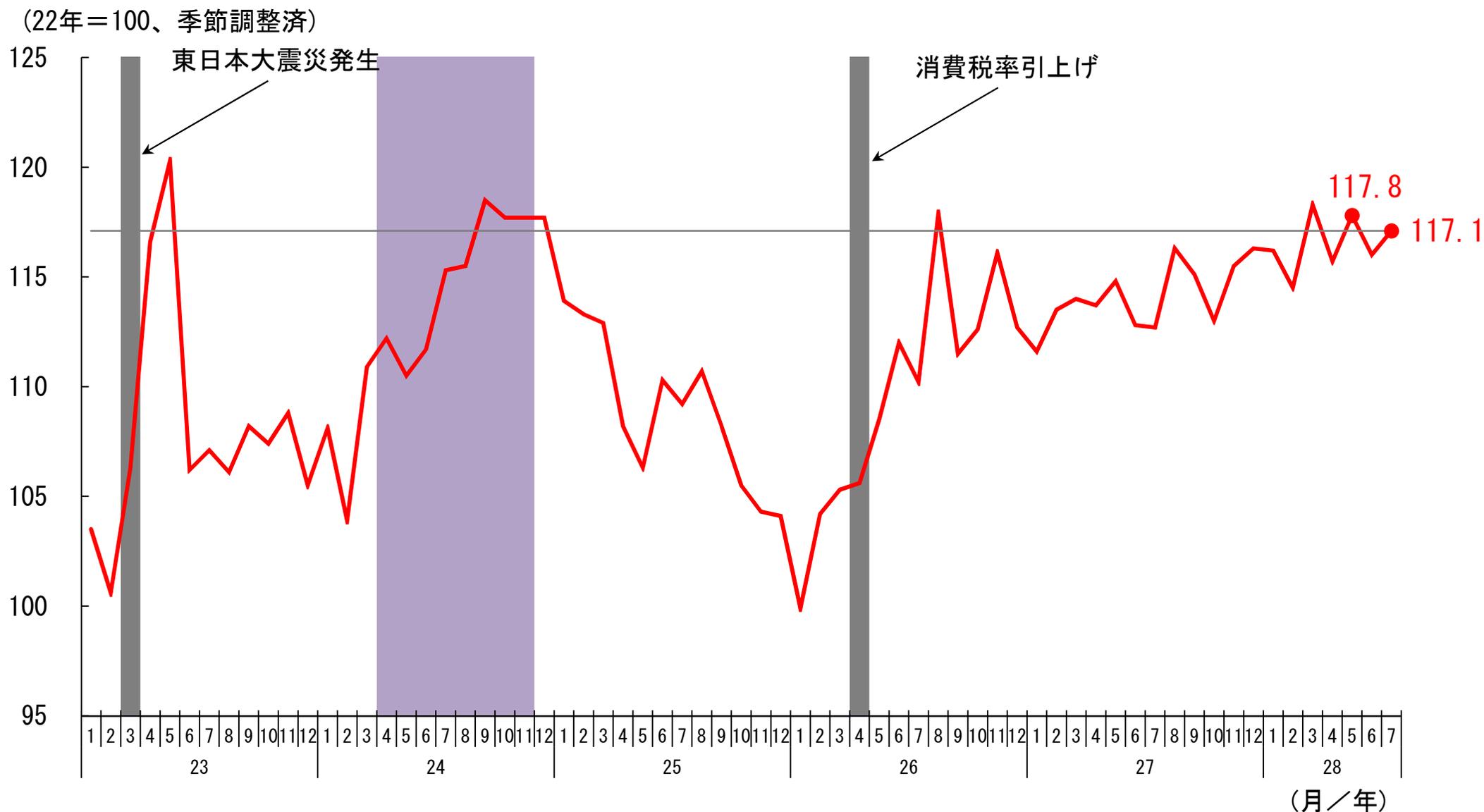
平成28年7月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目(財別)

	解説	品目名	前月比	寄与率
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	7.0%	94.8%
		普通乗用車	11.5%	81.9%
		軽乗用車	10.0%	8.4%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	0.6%	33.5%
		モス型半導体集積回路(メモリ)	20.3%	18.2%
		モス型半導体集積回路(CCD)	12.2%	9.5%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	1.0%	13.0%
		ガソリン	5.2%	9.5%
		化粧水	17.8%	4.3%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	0.8%	11.8%
		一般用蒸気タービン	61.2%	16.1%
		反応用機器	559.5%	15.7%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	▲ 2.3%	▲ 14.1%
		橋りょう	▲ 20.1%	▲ 7.0%
		小形棒鋼	▲ 7.6%	▲ 2.4%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

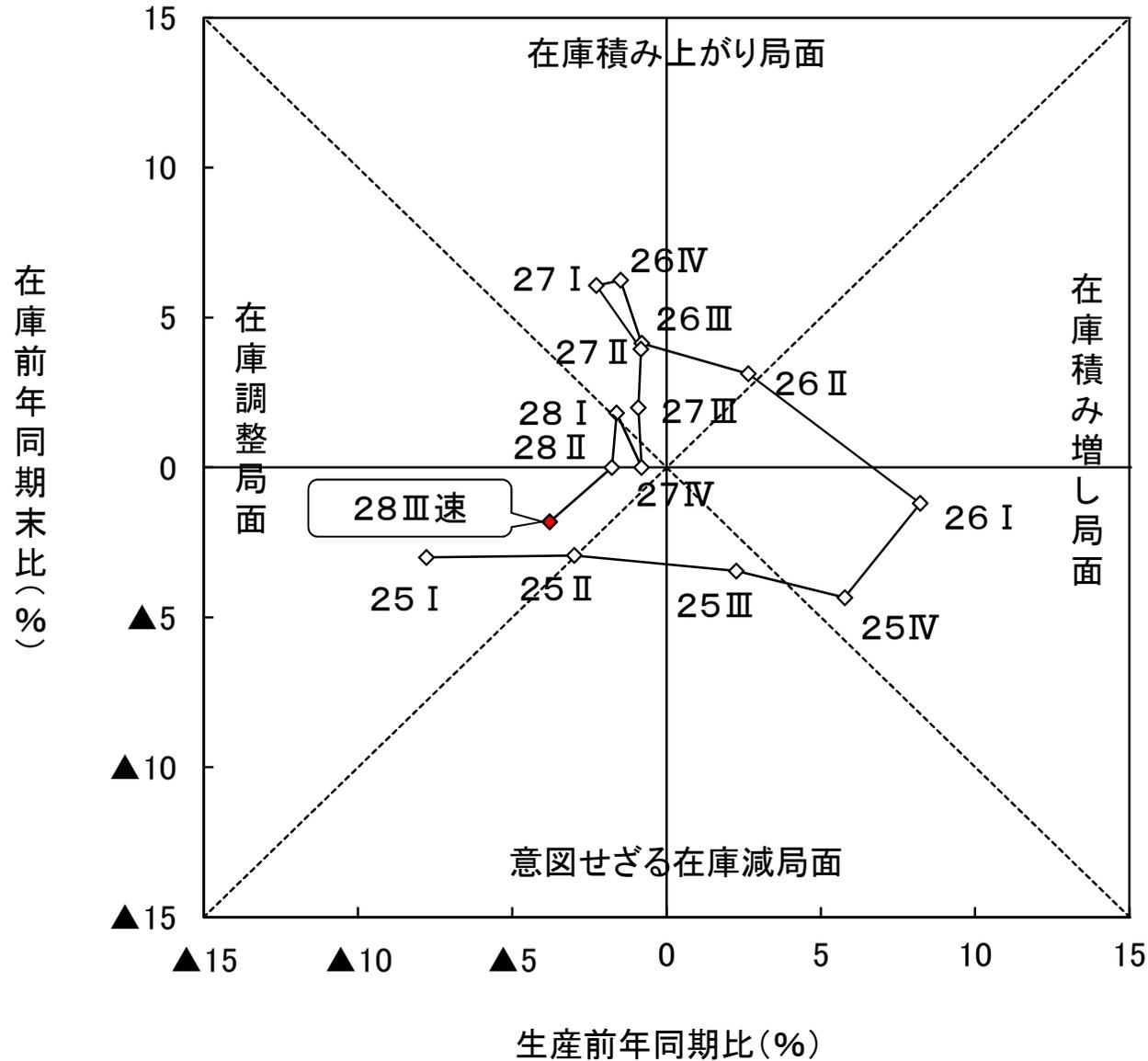
鋳工業在庫率指数の動向

- ・平成28年7月の在庫率指数は、117.1(前月比0.9%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成28年5月の117.8以来の指数水準。



(注)紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

鋁工業の在庫循環図



(注)「28 III速」は7月値を使用。